

*合理的配慮とは？

・合理的配慮とは「障害のある学生が他の学生と平等に教育を受ける権利を享有・行使できるように、大学必要かつ適当な変更・調整を行う」ことです。ただし、均衡を失した又は過度な負担を課さないものという条件が付けられています。学生と大学が丁寧に協議しながら行っています。

例えば、車椅子を使っている学生がいます、受講したい授業の教室が2階にあったとすると、授業への参加が制限されてしまいます。この教室を車椅子でアクセス可能な1階の教室に変更すれば、社会的障壁が除去されたことになります。この教室変更が、合理的配慮になります。

- ・合理的配慮の検討は、原則として学生本人からの申し出によって始まります。
- ・学生にとってどのような配慮が有効か、その配慮が妥当かを判断する材料として根拠資料が必要になります。
- ・障害のある学生の困り感やニーズを丁寧に聴き取るとともに、大学ができること、できないことを伝えるなど、建設的対話を重ねて双方が納得できる配慮内容を決定します。

(JASSO 合理的配慮ハンドブック参考)

